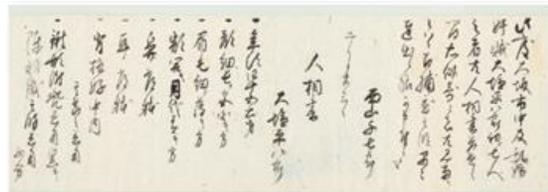
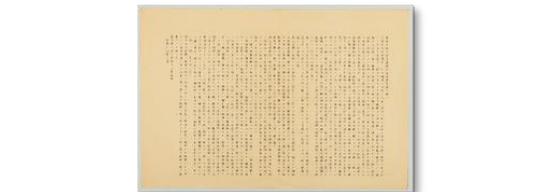
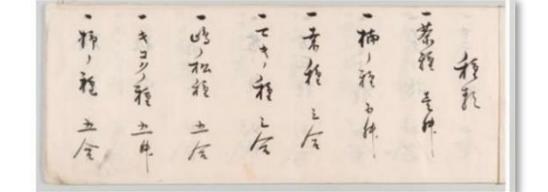


これまでに公開した解説シート (令和6年12月時点)

<p><b>キリシタン禁制</b>  <b>—密告者には褒美を与える—</b>          和歌山市大川に伝わった 1682(天和 2)年のキリシタン禁制の触書</p>		
<p><b>大塩の乱</b>  <b>—粉河の旧家に残されていた大塩平八郎の人相書—</b>          1837(天保 8)年に起こった大塩の乱の首謀者を指名手配するための人相書の写し</p>		
<p><b>学制の布達</b>  <b>—和歌山県における小学校教育のはじまり—</b>          1872(明治 5)年に発布された学制に関する和歌山県の布達</p>		
<p><b>地券</b>  <b>—和歌山県における地租改正—</b>          明治初年の地租改正に際して発行された和歌山県内の地券 (改正地券)</p>		
<p><b>紀北の自由民権運動</b>  <b>—粉河の実学社による国会開設建白—</b>          1880(明治 13)年、実学社の児玉仲児らが太政大臣の三条実美宛に提出した国会開設建白書</p>		
<p><b>紀南の自由民権運動</b>  <b>—幻の「田辺改進黨」構想—</b>          自由民権運動の高まりを受け、明治期に田辺で結成が目指された「田辺改進黨」の団結趣意書</p>		
<p><b>和歌山の自由民権運動</b>  <b>—木国同友会と濱口梧陵—</b>          1881(明治 14)年に濱口梧陵を会長として結成された木国同友会の仮規則</p>		
<p><b>近代産業の発展</b>  <b>—和歌山の工業化の原動力となった綿ネル業—</b>          明治初期の和歌山で生まれ、多くの関連産業の発展を促した綿ネル (紀州ネル) の見本帳</p>	data-bbox="525 654 809 734"/>	
<p><b>那賀地方の移民</b>  <b>—サンフランシスコからの注文書—</b>          明治時代に那賀地方からアメリカ合衆国へと移住した堂本誉之進が和歌山に暮らす兄へと送った注文書の控え</p>		

資料は今後も順次追加公開予定ですので、ホームページ上でも、ぜひご覧ください。

(<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/archive/kyouiku/index.html>)

